

# 風水害対策

「風水害」とは、台風などにより暴風や大雨によって起こる自然災害のことで、近年では特に、「ゲリラ豪雨」や「線状降水帯」の発生による大雨の影響により、全国各地に大きな被害をもたらしています。このような自然災害から身を守るために、さまざまな自然現象について正しい知識を持ち、自分自身への身近な危険として認識し、災害時におけるべき行動を平時から身につけておくことが重要です。



熱帯の海上で発生する低気圧を「熱帯低気圧」と呼びますが、このうち北西太平洋または南シナ海に存在し、なおかつ低気圧域内の最大風速(10分間平均)がおよそ17m/s(34ノット、風力8)以上のものを「台風」と呼びます。台風のおおよその勢力を示す目安として、風速(10分間平均)を基に台風の「大きさ」と「強さ」を表現します。「大きさ」は強風域の半径で、「強さ」は最大風速で区分しています。

## ■大きさの階級分け■

大きさ	風速15m/s以上の半径
大型(大きい)	500km以上800km未満
超大型(非常に大きい)	800km以上

## ■強さの階級分け■

強さ	最大風速
強い	33m/s以上44m/s未満
非常に強い	44m/s以上54m/s未満
猛烈な	54m/s以上

大雨や強風はわたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。普段から気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。

## 注意報

災害のおそれがあるときに発表されます。本書(防災ハザードマップ)などで避難行動を確認しましょう。

## 警報

重大な災害のおそれがあるときに発表されます。

## 特別警報

数十年に一度の大災害が起きると予想される場合に発表されます。危険な区域から避難できていない方は、命を守るための最善の行動をとりましょう。

## 早い段階で避難しましょう

### ? どこへ?

- 開設されている近くの避難所
- 安全な親戚、知人の家など

### 避難の準備は事前にしておきましょう

災害が発生してから避難準備をしていては、逃げ遅れてしまいます。避難するときに持つて行く物を事前に準備しておきましょう。

### 夜の避難は危険です!

夜は視界も悪く、音も聞こえづらく大変危険です。大雨が降り続いている場合は、明るいうちに早めに避難しましょう。

## 逃げ遅れたら高い場所へ!

### ? どこへ?

- 自宅の高いところ
- すぐ近くにある高い建物など

### 自宅にとどまる場合は覚悟を!

浸水して孤立した場合、例えば以下のようになるかもしれません。

- 停電により、テレビから情報が入ってこなくなる。
- 排水口やトイレが逆流し、衛生環境が悪くなる。
- 備蓄していた水や食料がなくなる。

自宅にとどまる場合は、備蓄品を3~7日分ほど準備しましょう。不便な環境に耐える覚悟が必要です。

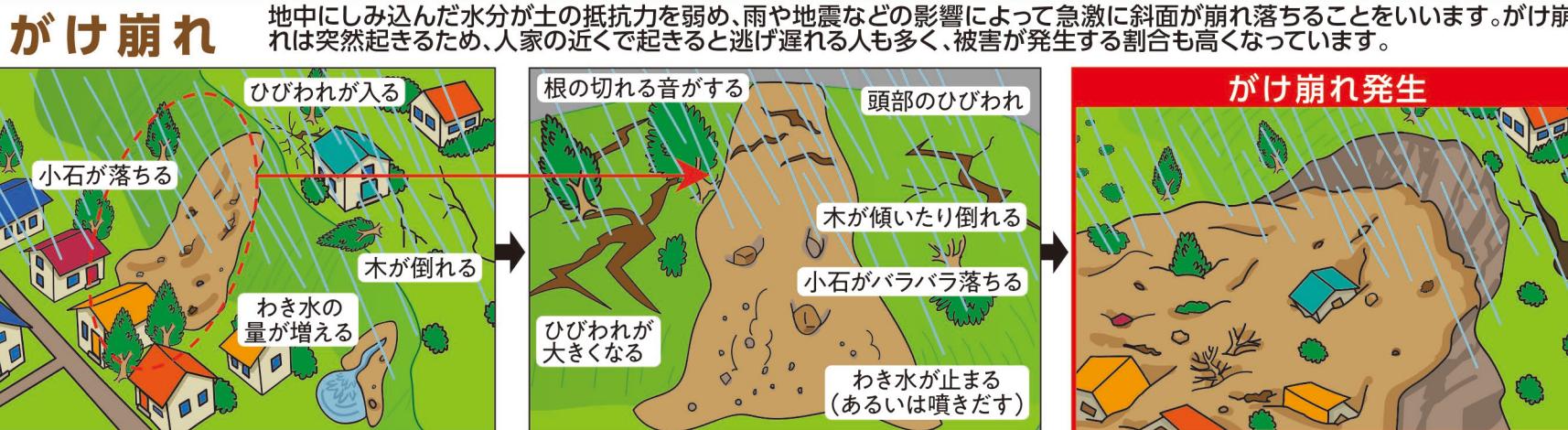
# 土砂災害対策

土砂災害は、台風、大雨、地震などにより発生しやすいです。斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震等でゆるみ、突然、崩れ落ちる「がけ崩れ」、山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨等によって一気に下流へと押し流される「土石流」、斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する「地すべり」があります。また、土砂災害が発生する前には、さまざまな前兆現象が起こるときがあります。

## 土砂災害の前兆・種類

\*下記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるというものではありません。普段と違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

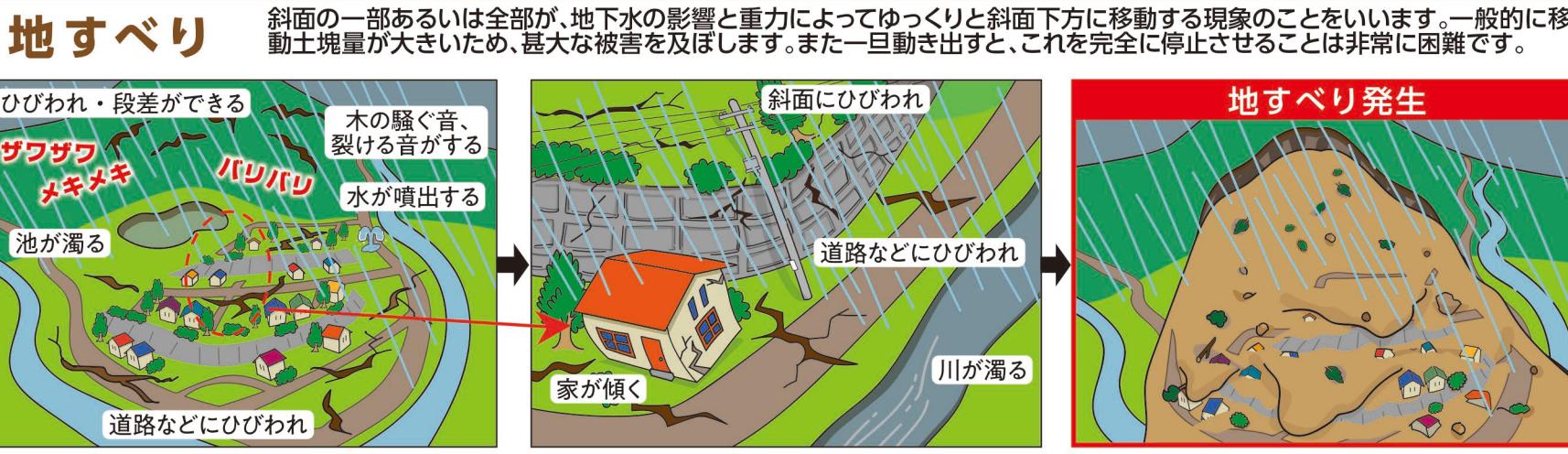
### がけ崩れ



### 土石流



### 地すべり



## 土砂災害の予防策

日ごろから避難する場所や道路などを確認しておきましょう。家の近くにがけのある方は、がけの周辺を見回り、次のようなことを心がけましょう。



### とっさの避難!

